

Role of IL-18 in V δ 2+ T Cell Activation in the Development of Cancer Immune Cell Therapy

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 阿部, 結貴 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032103

様式 (6)

学位審査

学位番号	甲 第 666 号	氏 名	阿部 結貴
審査委員会	主 査 教 授	松井 英雄	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究は $V\delta_2^+$T 細胞を用いた癌免疫療法の開発において IL-18 の重要性を明らかとした論文である。著者らは、抗原刺激前 $V\delta_2^+$T 細胞の CD56 発現の有無に注目し、IL-18 の作用を検討したもので、独創的である。特に、従来 CD56 の発現が、強い細胞傷害活性を示すマーカーと考えられていたが、本研究では、末梢血 CD56 陰性細胞から誘導した CD56 陰性 $V\delta_2^+$T 細胞も強い細胞傷害活性があることを示し、新しい知見であった。また IL-18 は、健康人末梢血 CD56 陰性 $V\delta_2^+$T 細胞に対して、細胞傷害活性を保持したまま増殖促進させる作用があった。さらに健康人だけでなく卵巣癌患者に対しても $V\delta_2^+$T 細胞増殖の検討を行い IL-18 の重要性を示した点で、今後の癌免疫療法の開発につながる知見であると思われる。本研究は学術的価値があり、学位授与に値する研究と考える。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			